

【校長室便り】

No. 3

H30年4月16日(月) 土佐町小中学校 谷内宣夫

『ある母親の願い』

おとなしそうで、シンの強い子

けんかはめったにしないが、やりだしたら血が出て、骨が折れても、やめない子

けんかに負けてやられても、「やられちゃった！」

といて涙をふくような子

海へ連れていってやったら小山のような波を見て、泳ぎたく

なって「お父さん、お母さん、見ていてよ。危なくなったら

助けてよ」そういって、波に向かっていくような子

服を着せたら、少々ツツルテンでも、ダブダブでも、

兄きのお古でも、洗いざらしでも、いっこうに

頓着(とんちやく)しないような子

学校で先生の言うことを、教えてくれることをしっかり聞い

て 家に帰ったらあまり勉強などしない子

テストだ、試験だと言って、うろうろしないで、

それでもどうにか大学ぐらいは卒業してくれる子

町にお祭りでもあれば、みんなと一緒に喜んで

うれしがって、踊りもやるような子

中学から高校にかけて、何でも良いからスポーツを身につけ

て母校のための一念から死んでも頑張るぞと、

若い血を燃えただす子

小さいもの、弱いものの味方になってそういうものがいじめ

られたりするとむしように腹が立って、大きいものや強いも

のに突き当たっていくような子ども

おじさまやおばさまからもらったお土産(みやげ)を大事に

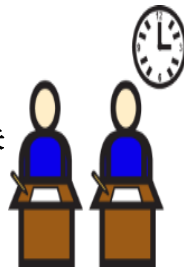
してお菓子のレッテルや包装紙の

切れはしまで記念にしてくれる子

時々、日曜日には遊びのコースを裏山の墓地にとり「おじい

ちゃんのお墓に花をあげてきたよ」と言ってくれる子

時々、正しい理屈を言って、言い出したら眼をとがらせて、



お父さんの言い分を負かしてくれる子

小鳥を飼ったり、金魚のエサを取りに行ったり犬小屋に蚊が

入らないように工夫したり 草花をかわいがったり 学校の

教科書よりも、他の本をたくさん持っていて 雨の日には、

一日読みふけり 暑い日盛りの炎天下でも、一日遊びほうけ

て どんなものでも喜んで、むしゃむしゃ食べて

それでいて 病気ひとつ知らない野蛮人のような身体で

ピチピチした そういう子どもを、私はのぞむ。

(青山小学校PTA 大塚好子 約30年前のPHPより)



「ある教師の願い」

あいさつやお礼が、さわやかに、明るくできる子

返事がきちんとできる子

美しい日本語が使える子・使おうとする子

「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れない子

自分がされてイヤなことは他人にしない子・できない子

自分が言われてイヤなことは他人に言わない子・言えない子

何かをやるときは、シラけず、自分の限界に挑戦する子・しようとする子

やる前から「できません」と言わない子

何か壁にぶつかったら、すぐにあきらめたり、他人に頼るのでなく自分で何とか解決しようと努力する子

自分で解決できない場合は、仲間と共に知恵を出し合い何とかよい方法を見つけ出そうとする子

どうしても自分自身で解決できない時は、そのままにせず

納得いくまで追求する子・しようとする子

まちがったことをしたら、素直に認めてなおす子・なおそうとする子

アドバイスされたことを素直に実行する子・しようとする子

当たり前だが、当たり前でできる子

そういう子どもを育てていきたい。



児童生徒の皆さん、あなたたちに対する保護者・教職員の気持ち・期待・育てるにあたっての願いなどを考えたことがありますか？新学期が始まった今、少し考えてみてください。

左記・上記に書いているような気持ち(愛)が注がれていることを知っておきましょう。

保護者も教師も、あなたたちに少しでも良い生き方・人生を送ることができるようにと考えて育てていますし、指導しています。

素直になれない時もあるでしょうが、人生の先輩からのアドバイスは、聞いていて損はないですよ。

小学校6年間・中学校3年間の義務教育9年間は、驚くほど心も体も大きく成長するときです。

世間一般の常識を身につけ、どこに出ても恥ずかしくない『自分』を作っていきます。そのために、保護者・教職員・地域の方々には協力を惜しみません。

あなたたちも、自分自身で「より良く生きよう」と努力しましょう。

保護者の皆さんにお願いです。新年度を迎え、気持ちも新たに「がんばろう」と心に誓っているお子さんにどんな人間になってもらいたいのか・「願い」等、伝えてやって下さい。若かった時のご自分の失敗談やうまくいった話も聞かせてやってください。よろしく願いいたします。